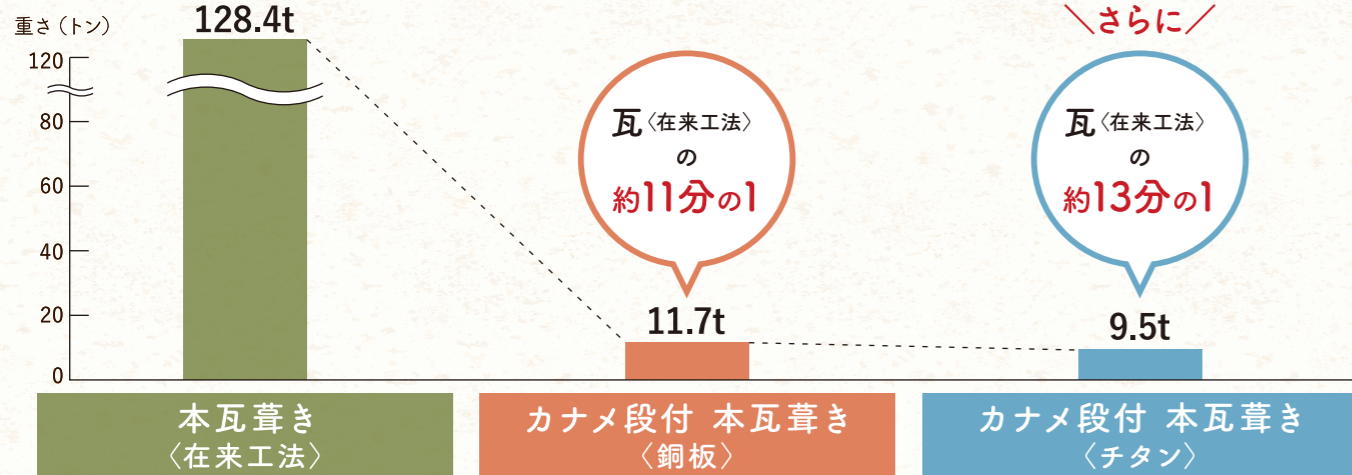


“材料別”重量表 ～本瓦葺き～

屋根400㎡あたりの重量
(下地材など含む)



本瓦葺き (在来工法) 昔ながらの日本の屋根で、神社仏閣から一般住宅まで幅広く使われています。

カナメ段付 本瓦葺き (銅板) 軽量で加工性に優れています。長い年月を経て、茶褐色・黒褐色・緑青色へとその佇まいの変化を楽しむことができます。

カナメ段付 本瓦葺き (チタン) 非常に軽量でありながら、高強度で耐食性に優れ、色あせの心配もなく、メンテナンスは一切必要なしとされている環境に優しい屋根材です。

現代では珍しい 茅葺き屋根 → 銅板屋根へ

千手院様 長野県南佐久郡
前回は金属屋根で覆っていた茅の撤去作業まで完了しました。今回は完成までをご紹介します。

完成した屋根は茅葺き屋根の形状を復元し納めることができました

こんなお困りごとはございませんか？

- 建物内部の状態
- 壁の状態
- 床下の状態
- 建具の隙間・歪み
- 床の軋み・段差

“地震対策”や“強風への安全対策”“獣害対策”“バリアフリー”など
今後の備えのために、「**無料調査点検**」をご用意ください。

社寺専門スタッフが対応致します

ご相談・点検のご依頼などはこちらから

総合受付 ☎ **028-660-3831** 【営業時間】8:30～17:30
【定休日】日曜・祝日・会社指定土曜

株式会社 カナメ

本社 寺社部 〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地38-52 TEL.028-660-3831

名古屋支店 〒491-0831 愛知県一宮市森本4-15-23 TEL.0586-71-2882

岡山支店 〒700-0927 岡山県岡山市北区西古松1-9-8 TEL.086-245-2541

神戸営業所 〒651-1313 兵庫県神戸市北区有野中町4-5-13-205 TEL.078-987-3434

Good Design ものづくり日本大賞

寺院・神社

お客様向け情報誌

カナメだより 系家 - えん -

vol.04
年2回発行



カナメの様々な 地震対策 工事事例紹介



情報コーナー 屋根を“軽く”する必要性

石川能登半島地震で被害を被られた皆様、
そして今なお大変な思いをされている皆様へ心よりお見舞い申し上げます。
私共も社寺建築会社として微力ではありますが、
皆様の復興とこれからの備えの為に全力でサポートさせていただきます。

～匠の心を現代に～
株式会社 **カナメ**

Vol.04 発行人 株式会社カナメ 本社 〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地38-52 TEL.028-660-3831 発行 2024年2月
カナメだより 編集はカナメで施工させて頂いたお客様とのご縁をつなぐ情報誌です。

地域未来牽引企業

チタン カナメ段付本瓦葺き

ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞受賞

GOOD DESIGN

カナメの様々な

地震対策工事事例紹介

地震に備えて補強工事などのご相談をいただく中でどんな対策・工法があるか、実際の工事事例をご紹介します。

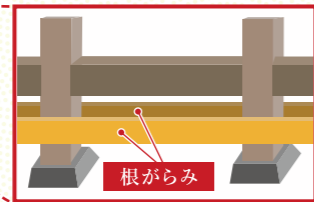
事例 01 **普仙寺様** 愛知県豊橋市
築100年を越える本堂は老朽化が進み災害に備えて大改修工事を決断されました。

対策 屋根の軽量化

屋根材を決める際に**チタンの軽さ**をご住職に大変気に入って頂き、チタン瓦での施工となりました。結果、屋根重量は60tから1.6tに軽量化することができました。



対策 根がらみの新設



根がらみ(ねがらみ)
ぐらつきや転倒を防ぐために用いられる横木の事です。
主要構造である柱を2本で挟み込んで連結させました。更に、2方向から交差し、地震時にそれぞれの柱がバラバラに動かない様に耐力を高めました。

事例 02 **雲龍寺様** 広島県庄原市
傾斜が見られたため傾斜修復工事を行う事になりました。その過程で耐震診断を行ったところ、**耐震性を上げるため壁を増設**しました。

対策 壁面数の増設

窓だった開口部に壁を増設し、採光を考え一部窓は残しつつも強度をもたせました。



事例 03 **理性寺様** 東京都杉並区
2011年の東日本大震災の影響を受け、ご相談頂きました。

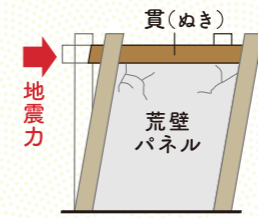
対策 屋根の軽量化

屋根の**軽量化**も考慮しつつ、意匠性にも優れた**本瓦の佇まい**を銅板で忠実に再現した『カナメ段付き本瓦葺き』に葺き替えました。

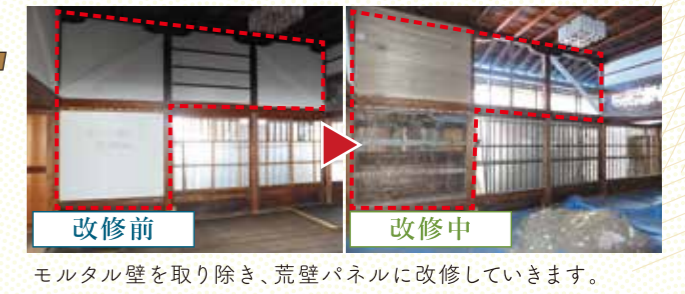


対策 壁の改修

モルタル壁から**荒壁パネル**に改修し、建具だった箇所に壁を入れて補強を行いました。



荒壁(あらかべ)パネル
自壊をともしない揺れを吸収し、受け流します。崩れることにより衝撃を和らげる「制振」の役割があります。



情報コーナー

屋根を“軽く”する必要性

建物の上部にある屋根の重量は地震時の揺れの影響に深く関わってきます。重さが難点で、その重量は**建物全体重量の8割近くを占め、耐震性を左右する大きな要因**です。
建物の上部が重たいと、地震が起きた際は振り子の原理により建物の揺れ幅が大きくなります。この**屋根を軽量化**することにより、建物の重心が低くなり、地震の際に建物が受ける地震力が小さくなります。倒壊の危険性も低くなりますし、屋根瓦の崩壊などの二次災害も防ぐことができます。

